

ELECOM 取扱説明書

Bluetooth Ver.4.0 Bluetooth®ワイヤレスポータブルスピーカー

LBT-SPP310AVシリーズ

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書はBluetooth ワイヤレスポータブルスピーカーの使用法や、安全に取り扱いいただくための注意事項などを記載しています。本書の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本書をいつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

接続のときに必要な情報です

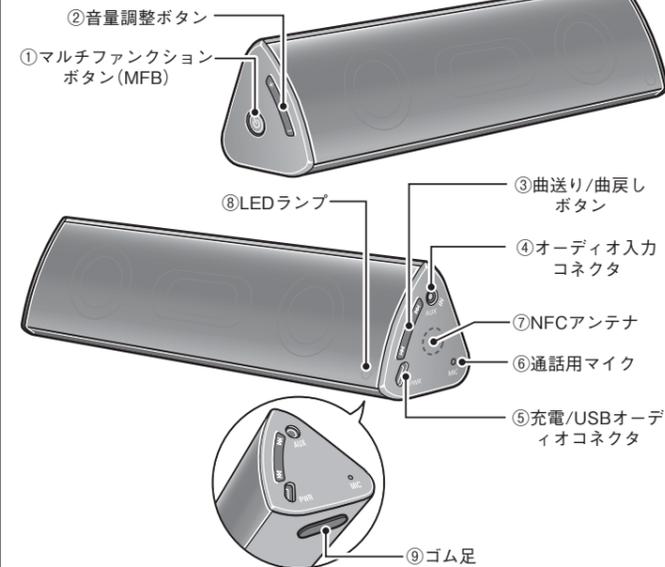
- 携帯電話やスマートフォンなどから検索するときの本製品の名称 **SPP310**
- 入力を求められた際に必要なパスキー **0000(ゼロ四つ)**

※パスキーはBluetooth2.1以降の規格の機器と接続する場合は省略できる場合があります。

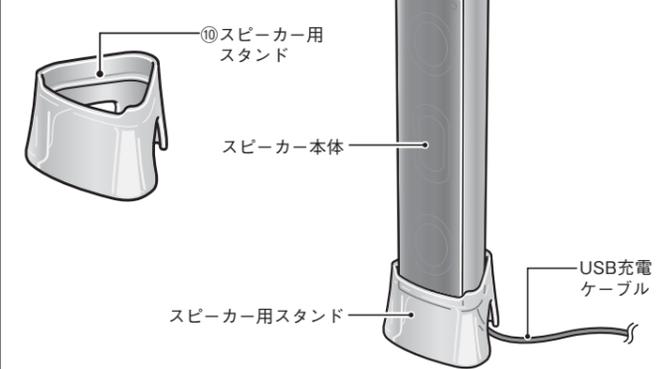
各部の名称とはたらき

①マルチファンクションボタン (MFB)	電源のオン/オフ、ペアリングに使うボタンです。また、音楽再生中にこのボタンを使うと、再生/一時停止できます。
②音量調整ボタン (+/-)	音量を大きくする時は+側を短く押し、音量を小さくする時は-側を短く押しします。
③曲送り/曲戻しボタン (KKI ▷◁)	音楽再生中にKKI▷◁を押すと、曲送り/曲戻しします。
④オーディオ入力コネクタ (AUX)	付属のオーディオケーブルを接続します。Bluetoothに対応していない外部機器との接続に使用します。 ※オーディオケーブルを接続しているときは、本機の電源をオフにできません。
⑤充電/USBオーディオコネクタ	充電するときに付属のUSB充電ケーブルを接続します。パソコンのデジタルオーディオを使用する場合、パソコンと接続します。
⑥通話用マイク	携帯電話やスマートフォンで通話するときのマイクです。
⑦NFCアンテナ	NFCを使って接続する時に、スマートフォンをかざすアンテナです。
⑧LEDランプ	電源やペアリングの状態を示す赤、白2色のLEDランプです。
⑨ゴム足	ゴム足のある面がスピーカー底面になります。
⑩スピーカー用スタンド	スピーカーを縦置きするためのスタンドです。

■本体



■スピーカー用スタンドの使いかた



1

■主要操作一覧

	ボタンの操作	LEDランプの状態
電源オン	電源がオフのときにMFBを約2秒間長押し	消灯→白色で2回点滅
電源オフ	電源がオンのときにMFBを約3秒間長押し	白色で1回点滅→消灯
ペアリングモード	電源がオフの状態でもMFBを4秒以上長押し	白色ですばやく点滅
電話を受ける/切る	電話着信時、通話中にMFBを短く1回押し	—
充電中	—	赤色で点灯
充電完了	—	消灯

本製品の使い方

お使いになる前に

本製品は、お使いになる前に充電しておく必要があります。充電には付属のUSB充電ケーブルを使用します。

充電について
 充電時間：約2時間 ※
 充電が完了し、LEDが消灯したら充電ケーブルを取り外してください。
 安全のために、充電終了後の通電を避けることを推奨します。
 ※充電時間は、接続するUSBポートの出力によって異なります。

1 本製品にUSB充電ケーブルを接続する

付属のUSB充電ケーブルのmicroUSBコネクタを、製品本体の充電用microUSBコネクタに接続します。

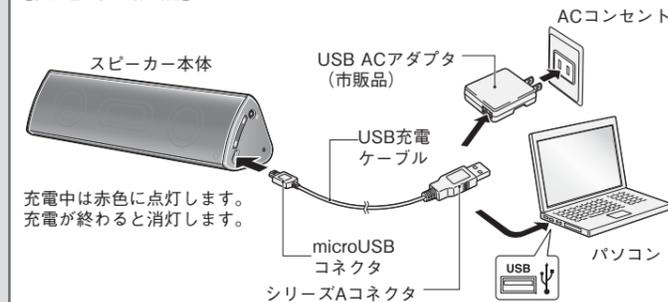
2 パソコンにUSB充電ケーブルを接続する

付属のUSB充電ケーブルのシリーズAコネクタを、パソコンのUSBポートに接続します。

充電中はLEDランプが赤色に点灯します。

3 LEDランプが消灯したら充電完了です

[充電時の接続]



- コネクタの向きに注意して接続します(逆向きには接続できません)。
- パソコンの電源が入っていないと、電力が供給されません。電源を入れてください。
- パソコンのUSBポートを使用する以外に、市販のUSB ACアダプタやシガーチャージャーからでも充電できます。
- パソコンのデジタルオーディオを使用する場合、データ線付USBケーブルを別途お買い求めください。

ペアリング(機器への初期登録)の方法

本製品をお手持ちの携帯電話やスマートフォンで使用するためには、お手持ちの機器とペアリング(本製品を機器に初期登録する操作)を行なう必要があります。ご使用になる接続先機器側の操作については、別紙「**簡単接続ガイド**」をご覧ください。お手持ちの携帯電話やスマートフォンの取扱説明書をお読みください。

1 本製品をペアリングモードにする

本製品の電源がオフの状態からマルチファンクションボタンを4秒以上長押しして、ペアリングモードにします。LEDランプが白色ですばやく点滅し、ペアリングモードになります。



- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切ってからやり直してください。
- すでにペアリング済みの機器が周囲にある場合は、LEDが白色に点滅したらボタンから手を離してください。機器側の自動再接続設定や、信頼設定機能が有効になっている場合は、その機器と自動的に再接続します。
- ペアリングしたい機器によっては、あらかじめ機器側で「LBT-SPP310からの通信を許可する操作」が必要です。

2 接続先機器から本製品(LBT-SPP310)を検索

ペアリングしたい機器(携帯電話や携帯型オーディオプレーヤ)から、本製品を検索します。検索方法はご使用の機器によって異なります。接続先機器側の操作については、別紙「**簡単接続ガイド**」をご覧ください。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みください。

2

右上の手順に続きます ↑

3 接続先機器に本製品(LBT-SPP310)を登録

携帯電話や携帯型オーディオプレーヤから本製品が見つかったら、デバイス名「SPP310」が検索画面上に表示されますので、選択して登録します。LEDランプが5秒ごとに1回白色で点滅すると、ペアリングの完了です。



※4秒ごとに1回の白色で点滅している場合、接続されていません。再度ペアリングを試みてください。

- パスキーの入力を促すメッセージが表示された場合は、「0000」(ゼロ4つ)と入力します。機器によっては(Bluetooth 2.1 対応機器)、パスキーを入力しなくても登録が完了する場合があります。
- 機器によって、ペアリング後に「接続」操作が必要な場合があります。お手持ちの機器の取扱説明書をお読みになり、「接続」操作をしてください。
- ペアリング情報は8台まで記憶できます。9台目を登録した場合は、古い情報から順番に削除されます。削除された機器と再接続する場合は、再度ペアリングが必要です。
- ペアリング先の機器の設定状態などの原因でペアリングが完了しない場合は、いったん電源を切ってやり直してください。

NFCペアリング(タッチで簡単ペアリング)

本製品は、NFCを搭載したAndroidスマートフォンとタッチでペアリングをすることができます。

- NFCペアリング前の準備:
- スマートフォン: NFC機能をオンにする
ホーム画面に戻す
 - 本製品: 電源オフにする

- NFCペアリングの手順:
- 1 スマートフォンのNFCアンテナを本製品のNFCアンテナと重ねるようにタッチします。
 - 2 スマートフォン「接続しますか?」のようなメッセージが表示されます。
 - 3 本製品がペアリングモードになったら、「はい」を選択します。
※表示されるメッセージは、スマートフォンによって異なる場合があります。
 - 4 しばらくすると、自動的にペアリングを完了し、接続されます。
※スマートフォンによっては、ペアリング後に接続操作が必要になる場合があります。



※接続するスマートフォンによっては、専用Appのインストールが必要になる場合があります。Playストアで「エレコム NFC」で検索して「タッチでかんたん接続」をインストールしてください。

- NFCペアリングを使用するには、接続するスマートフォンが NFCペアリングに対応している必要があります。
- NFCが反応しない場合は、タッチの位置を変えるなどして、メッセージが表示されるように調整を試みてください
- NFCペアリングがうまくいかない時は、何度か試みるか通常のペアリング操作でペアリング、接続を行ってください。

基本操作

電源のオン/オフ

■電源をオンにする

電源がオフの状態でも本製品のマルチファンクションボタンを約2秒長押しすると、LEDランプが白色で2回点滅し、電源がオンになります。すでにペアリング済みの機器が近くにある場合、自動的にその機器に接続を試みます。接続が完了すると、LEDランプが白色で5秒ごとに1回点滅し、機器が使用できるようになります。

※携帯電話より「LBT-SPP310からの接続を許可する」操作や、接続操作が必要な場合があります。

■電源をオフにする

電源がオンの状態でマルチファンクションボタンを約3秒長押しすると、LEDランプが白色で1回点滅して消灯します。電源がオフになります。

- ・接続先の機器との通信が途切れるなど接続が解除されると、待機モードに移行します。
- ・待機モードのまま再接続がされない場合、約6分で自動的に電源がオフになります。

音楽を聴く

本製品はA2DP(オーディオプロファイル)に対応しているため、接続した携帯電話やスマートフォンの音楽やスマートフォンのナビ音声等を聴くことができます。また、SCMS-T方式のコンテンツ保護にも対応しており、ワンセグTV等の音声を聴くことができます。ワンセグ視聴の際にaptXによる音声が再生できない端末もあります。その場合は端末側の設定でaptXをオフにしてください。

■再生/一時停止

マルチファンクションボタンを短く押し、「AVRCPプロファイル」に対応した機器とペアリングしている場合に、接続先の音楽を一時停止します。もう一度マルチファンクションボタンを押すと、音楽の再生に戻ります。

3

右上の手順に続きます ↑

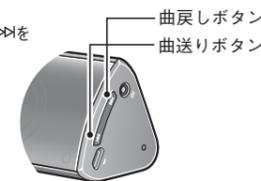
■音量を調整する(15段階)

本製品の音量調整ボタンを使用して、音量を15段階で調整できます。音量を大きくする時は、音量調整ボタンの+を押し、音量を小さくする時は-を押しします。本製品の音量を最大にしても希望の音量が得られない場合は、ペアリングした機器の音量を調整してください。

■曲送り/曲戻し

音楽再生中に曲送り/曲戻しボタンのKKIまたは▷◁を押します。

※接続先の機器により機能しない場合があります。



ステレオスピーカーとして使うには

本製品を2台用意すると、ステレオスピーカーとして使用できます。ステレオスピーカーとして使用するには、スピーカー同士をペアリングする操作が必要です。2台のスピーカーをペアリングするときに、スピーカーのR側とL側を決めます。音量調整や電源のオフは、R側、L側どちらでも操作できます。

- すでに接続済みの機器がある場合は、その機器のBluetoothをオフにしてください。
- 1度、2台のスピーカーをペアリングすると、次からは自動的にペアリングされます。
- AUX(オーディオ入力コネクタ)に外部機器を接続した場合、本機能は使用できません。

1 L側のスピーカーとスマートフォンをペアリングする

「ペアリング(機器への初期登録)の方法」の手順を参照してください。

2 スマートフォンのBluetoothをオフにする

3 2台のスピーカーの電源をオンにする

マルチファンクションボタンを約2秒押し、電源をオンにします。

4 スピーカーの音量調整の[+]を3秒以上長押しする

LEDランプが白色ですばやく点滅します。

5 もう一方のスピーカーの音量調整の[-]を3秒以上長押しする

LEDランプが白色ですばやく点滅します。

2台のスピーカーのペアリングが完了します。

6 スマートフォンのBluetoothをオンにし、L側のスピーカーと接続する

携帯電話などで通話する

本製品のマイクは本体の充電用microUSBコネクタのある面に搭載されています。

- 以下に説明する機能は、ヘッドセットプロファイル(HSP)およびハンズフリープロファイル(HFP)でペアリングしたときのみ利用できます。
- 携帯電話の仕様によっては、以下に説明する本製品の操作に対する携帯電話の動作が異なることがあります。

■電話を受ける

接続したスピーカーから着信音が聞こえたら、マルチファンクションボタンを1回押しします。
※携帯電話の仕様上、Bluetoothスピーカーに着信メロディは設定できません。

■電話を切る

通話状態で、マルチファンクションボタンを1回押しします。

■発信する

任意の相手先に発信する場合は、ご使用の携帯電話側で発信操作を行い、その後出力先の切り替えを行います。

<操作例>

種類	操作方法
iPhoneの場合	発信後→音声出力先に本製品(SPP310)を選択します。
Androidの場合	発信後に画面内の「Bluetooth」ボタンを押す。
docomoの場合	発信後に「通話」ボタンを長押しする。
auの場合	携帯電話側で発信操作後、携帯電話の「EZ」ボタンを押す。
Softbankの場合	機種またはモデルによって操作方法が異なります。ご使用の機器の取扱説明書を参照してください。

※発信後の切り替え方法については、接続した携帯電話に依存します。上記の方法で切り替えができない場合は携帯電話のメーカーに相談、または携帯電話の取扱説明書をご確認ください。

■音量を調整する(15段階)

本製品の音量調整ボタンを使用して、音量を15段階で調整します。音量を大きくする時は、音量調整ボタンの+を押し、音量を小さくする時は-を押しします。音量を最大にしても希望の音量にならないときは、ペアリングした機器の音量を調整してください。
※一部の通話用アプリケーションでは、Bluetoothでの通話に対応していない場合があります。

パソコンで使用する

パソコンで音楽聴取・音声チャットをする場合は、パソコン側で音楽の再生/停止、通話の開始/終了の操作を行います。操作および設定方法はご使用のソフトウェアやOSにより異なります。詳細はご使用のソフトウェアまたはOSのマニュアルやオンラインヘルプをお読みください。

裏面の「取り扱い上の注意」や「困ったときは…」もご参照ください。

4

